

行仙宿管理棟のスズメバチの巣駆除

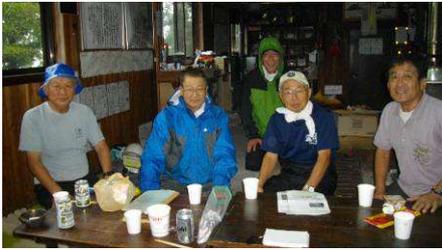
◇実施日；2016年09月18日（日） 雨時々大降り

◇参加者；川島 功、沖崎吉信、児嶋道夫、青木宏充、梶野照雄。 5名。

先週、管理棟の毛布を屋根に干す作業中にスズメバチに刺されたという事から、蜂の巣の存在を知った。

青木さんから「9月18日に行仙宿のハチの巣を取るの、殺虫剤を用意してほしい」と連絡があり、事務局にその旨を連絡すると新宮からの参加者が増え、5名での作業となった。

小雨の中、午前11時過ぎに登山口到着、着替えてモノレールを降ろすために登り始める。水場の手前で沖崎車の到着が見えた。積んできた砂7袋を降ろして、登山口鉄階段脇に伸びた枝を鎌で刈った。児嶋さんを中心に新宮組3名で、10分ほどでスッキリきれいになった。



登山口階段の小枝刈り

昼食後の本日参加者

前日、天狗山付近の笹刈をして深仙小屋泊の青木さんはまだ到着せず、沖崎さんを残して川島、児嶋、梶野の3名で行仙小屋に先行した。

小屋到着後、ハチの巣の様子を見に行くが、地上から屋根桁の裏で全く見えない。雨の為ハチの活動は殆ど無く、数匹が飛んでいるが向かって来ることは無かった。

しばらくして、沖崎、青木両氏も到着、昼食後、厚手雨具（ゴアテックスでない）・ゴム手袋・ゴーグル等で各自武装して除去作業をはじめた。

止んでいた雨が再び降り出し、トタン屋根の上は滑りやすく、行動には慎重を期した。蜂専用殺虫剤を持って青木、梶野が屋根に上がり、他の3名は地上でのサポートとなった。

ハチの巣は管理棟玄関上の屋根と大屋根の間の三角形のトタン壁の内側にある様だ。狭い空間で何とか小バールでトタン壁を剥がしてみると縦5cm×横20cm×奥行き3cmのハチの巣が見つかった。



玄関屋根と大屋根の狭い所での駆除作業

スズメバチの巣

蜂専用殺虫剤のお陰で、既にハチは殆ど死滅していたが、まだ十数匹が這い出してきた。園芸シヨベルやパールで巢のほぼ全てを欠き落とすまで5分程だった。ハチの総数は100匹ほど、巢には幼虫が40匹ほどいた。

剥がしたトタンはそのままの状態にしたが、近いうちに残った巢の痕跡をヘラで削り落として元通りに塞ぎ、隙間をコーティングして、再びハチが巢を作れないようにしたいと思う。

小屋に戻って武装解除し、スマホを確認すると、R425や上池原↓下桑原線、R168の一部などの雨量規制通行止めのメールが来ていた。

青木氏は、早速蜂の子を取り出し、フライパンで煎ってご馳走だと勧められるが・・・長野県辺りでは大ご馳走だそうだ。

急いで下山準備し、本日小屋泊の青木さんを残して、午後2時半に下山を始めた。

児嶋さんは、家内の実家小森に立ち寄った関係で、大沼橋の路側に止めていた1トトラックに乗換え。

国道168号線の高田口バス停付近のカーブで児嶋車がスピンして側溝に両輪脱輪の自損事故があり、戻るように携帯電話がある。幸い対向車も無く、本人も怪我も無かったが、我々が加勢しても上げられず、JAFに依頼して脱輪を解消、バンパーが変形したが自走出来、予定より約2時間遅れで帰新した。

この頃、雨が上がっていたが、路面の濡れと空荷トラックのため、先行の乗用車に遅れ無い様にとスピードが速かった事が要因と思われる。車列で走行する場合は、お互いに留意すべきことがある。

行動タイム

11:05補給路登山口11:25→12:05行仙小屋・昼食、作業14:30→15:00。

(記:梶野)